

科目名	栄養指導論Ⅰ	科目分類	☐ 基礎教育科目 ☒ 専門教育科目
英文表記	Nutrition EducationⅠ	開講年次	☒ 1年 ☐ 2年
ナンバリング	NG111G	開講期間	☐ 前期 ☒ 後期 ☐ 通年 ☐ 集中
ふりがな	とみおか かなえ	授業形態・修得単位	講義・2単位
担当教員名	富岡 佳奈絵	実施方法	☒ 対面のみ ☐ 遠隔のみ ☐ 対面・遠隔併用
		実務家教員担当科目	
授業のテーマ	栄養指導の概念及び意義を理解し、健康増進やQOLの向上のための栄養指導に関する基礎的知識を修得する。		
授業概要	栄養指導の概念及び意義、栄養教育マネジメントサイクルに則って行う栄養教育（指導）について講義・演習を行う。		
到達目標	1. 栄養指導の意義、栄養士法、国の施策について説明できる。 2. 栄養アセスメントに基づいた栄養指導の計画立案、実施、評価、計画の見直し・改善の方法を理解する。 3. 栄養教育にかかわる理論・モデルを説明できる。		
授業時間外の学習	事前にシラバスを確認し、次回授業の分野についてテキストを読んでおく。（30分） 事後には、授業で配付された資料の整理及び復習（30分）、課題がある場合はその作成を行う。（60分）		
履修条件	指定するテキストを必ず用意すること。		
授業計画			
第1回	テーマ： 栄養指導の概念① 意義・目標		
第2回	テーマ： 栄養指導の概念② 法規 国の施策		
第3回	テーマ： 栄養指導の変遷① 変遷		
第4回	テーマ： 栄養指導の変遷② 現状と課題		
第5回	テーマ： 栄養教育マネジメント① マネジメントで活用する理論・モデル		
第6回	テーマ： 栄養教育マネジメント② 栄養教育マネジメントサイクル、目標設定		
第7回	テーマ： 栄養教育マネジメント③ 計画立案（教材の選択と作成 学習形態の選択）		
第8回	テーマ： 栄養教育マネジメント④ 実施、評価		
第9回	テーマ： 栄養教育にかかわる理論・モデル① 行動科学と栄養教育		
第10回	テーマ： 栄養教育にかかわる理論・モデル② 刺激-反応理論、ヘルスビリーフモデル他		
第11回	テーマ： 栄養教育にかかわる理論・モデル③ トランスセオレティカルモデル		
第12回	テーマ： 栄養教育にかかわる理論・モデル④ ソーシャルサポート、コミュニケーション理論他		
第13回	テーマ： 栄養カウンセリング① 意義と特性 態度と倫理		
第14回	テーマ： 栄養カウンセリング② 基礎的技法と実践（演習）		
第15回	テーマ： 組織づくり・地域づくりへの展開		
第16回	定期試験		
テキスト	永井成美・赤松利恵「Visual 栄養学テキスト 栄養教育論 第2版」 中山書店		
参考文献・資料	足立淑子編「ライフスタイル療法Ⅰ 第5版」医歯薬出版 他、授業時に適宜紹介する。 資料はポータルサイトまたは授業時に配付する。		
成績評価の方法	定期試験（70％）課題（30％）で総合的に評価する。 出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。		
成績評価基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)		
オフィスアワー	木曜日 13:00～14:30		
受講生に望むこと・受講のルール	テキストを必ず購入し、事前学修・事後学修を含め積極的な態度で授業に臨むこと。 課題は、期限内に必ず提出すること。		

